

その他

個別の教育支援計画を活用した引継ぎの例

幼稚園から小学校へ引き継ぐ

幼稚園名	〇〇	名前	△△ △△	在園期間	□年
好きな事	ドッジボール、鬼ごっこ				
よさ	穏やかで、ゆったりと構えている。真面目である。				
日常生活	・立ち歩かないで食べることができる。 ・トイレを一人ですることができる。 ・はしを使って食べることができる。				
遊び	・友達と遊ぶことができる。 ・遊具等、順番を守って遊ぶことができる。 ・友達を遊びに誘うことができる。				
運動	・走ったり跳んだりすることができる。 ・ボールを投げたり受けたりすることができる。 ・一定時間、歩くことができる。				
言葉	・場に応じた大ききで話すことができる。 ・発音がやや不明瞭で、詰まる時がある。				
かかわり	・挨拶や返事などができる。 ・困ったとき、教師や周囲の大人に伝えることはできる。				
学習	・一定時間、座って課題に取り組むことができる。 ・紙の大きさに合わせて絵などをかくことができる。				
有効だった手立て	・できたところを認め励ますと、次への意欲につながった。 ・一緒にする、アドバイスするとがんばれた。 ・話しかけてきた時は、しっかりと受け止めると、話す気持ちが高まった。 ・遊びの楽しさを経験させると、自分から友達を誘い出すようになった。				

☆ 保護者の同意のもと、有効だった手立てなど、必要な事を小学校に引き継ぎました。

中学校から高等学校へ引き継ぐ

支援メモ

平成		年	月	日	年	組	氏 名	
場所							記入者	
子どもの様子					○有効だった手立て ●よくなかった手立て			
注意された内容を本人は理解していないように思われる。					● 否定的なアドバイスだと聞かない。 ○ 何をどう改善するとよいかを、具体的に伝えると耳を傾け、実行する。			

支援メモ

平成		年	月	日	年	組	氏 名	
場所							記入者	
子どもの様子					○有効だった手立て ●よくなかった手立て			
授業中に無意識に、不満の時、顔にあらわれる。					● 担任が「まわりがどう思っているかを考えなさい」と言うと、しばらくは直そうとするが、また元に戻る。 ○ 本人のよいところを伝え、「そのよい点を生かすために 直そう」と伝え、表情が明るくなり、がんばれた。			

☆ 保護者の同意のもと、場面における子どもの様子と手立てをメモした「支援メモ」を中学校から高等学校に引き継ぐことにより、有効だった支援が高等学校でも行われました。

保護者への説明

入学当初の保護者への説明（幼稚園）

幼稚園には、大勢の友達がいいます。
しかも、それぞれが違った個性をもっていて、いろいろな人と出会うことができます。
そして、お互いに分かり合うまでは時間と努力が必要です。（中略）

人間は自分一人の力で生きるのではなく、互いに思い合い、助け合いながら育っていく関係をつくりだしてこそ幸せであると思います。その大切さを身をもって知っていくのです。見守っていきましょう。育ちあっていくことを信じて。不安なことがありましたら、ぜひ経験豊富な教職員を頼りにして下さい。一緒に悩みを分かち合ってくれると思います。

子どもには、よさやできることがたくさんありますが、「言語発達が遅い」「基本的生活習慣が定着していない」「会話がかみあわない」「落ち着きがない」など、どの子どもにも支援が必要なことがあります。

こうしたことから、本園では、校内委員会を設置して、特別支援教育コーディネーターを中心に、教職員全員で必要な指導や支援を行っていますので、御安心ください。

本園では、例えば、「遊びの中で実体験を充実させる」「そばについて、繰り返し丁寧に指導する」などの必要な支援を行っていきたいと考えています。全ての子どものよさや可能性を伸ばしていけるよう、一人一人に応じた指導や支援を行っていきますので、一部の子どもへの差別やえこひいきをするものではありません。

「互いのよさや違いを認め合える人間関係づくり」に取り組むことは、一部の子どもだけでなく、すべての子どもに対する指導の充実を図っていけるものと考えておりますので、こうした取組について、御理解と御支援を賜りますよう、お願いいたします。

また、お子さんの支援について、いつでも御相談ください。

☆ 入学当初に、保護者に対し、特別支援教育について分かりやすく説明しています。

「実践BOX」の取組

実践BOXの取組

「実践BOX」とは

授業や学級経営におけるユニバーサルデザインの実践をメモしてBOXに入れて、集まったら教員全員で見て、よい実践を共有するものです。



校内で
互いの実践
を共有

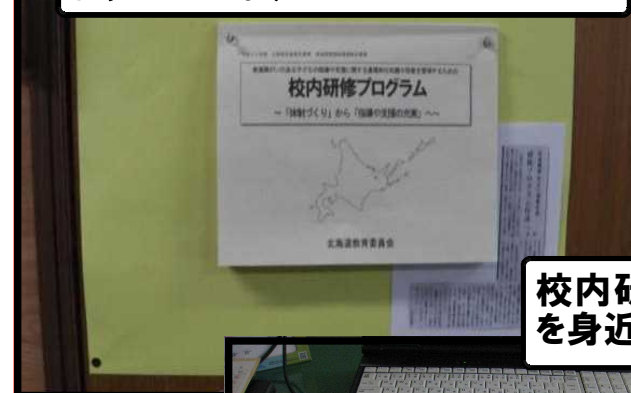
- 職員室の後方に設置。
- B5・1枚の半分程度の用紙に、実践をメモ書きして投函する。
- ある程度たまった時に、開いて、研修担当者が印刷して、教員全員に配付し、全員で共有している。

☆ 先生方が互いの実践を共有するきっかけとなりました！

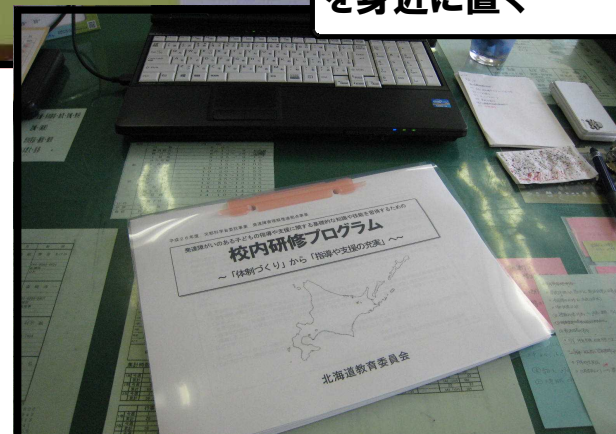
校内研修プログラムの活用

校内研修プログラムの周知

校長室に掲示し、管理職が、常に意識するようにしています！



校内研修プログラム
を身近に置く



道立特別支援教育センターからダウンロードして印刷し、どの先生もファイルで持っていて、いつでも見ることができるようにしています！